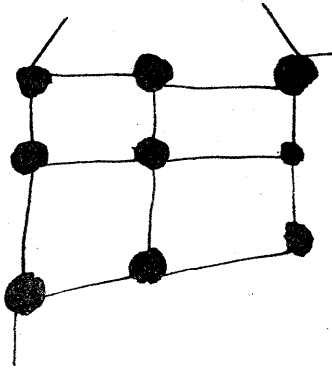


私の園の研究

組の研究



幼児の言葉から

うまれたうた

鈴木正子

私は組の研究として、「幼児たちのうた」をとり上げてみたいと思います。

保育室で園庭で又ある時は園外保育の折に、幼児達は様々な言葉を私のノートの中に残してくれました。

それらの幼児の言葉の中には、おのずからにしてリズムを持っているものもあり、私は常々曲をつけて子供たちと、うたうことが出来たならどんなに楽しいことだろうかと想って居りました。ある日そのことを附属小学校の音楽担任の茂木五郎先生に相談いたしましたところ先生も私の主旨に共感して下さり早速作曲のはこびとなりました。二人の共同研究の結果その夢が実現し

幼児達の子想以上のよろこびにふれ私はほんとうに良かったと思いました。

試みて、まだ日の浅い経験であります。ここにその一部を御紹介してみたいと思います。作曲が出来上った時私は、幼児達がどんな顔をしてこのうたを受け取ってくれるかということに大きな期待をもちました。

「〇〇ちゃんがあの時こんなことを言いました。それがうたになりましたよ、みんなで歌ってみましょう。」と言うとある作者は、はずかしそうなかみをみせ、ある作者は、「そんなことを言ったかしら。」といぶかしい表情をみせました。

他の幼児達は、どんな歌が始まるかと珍しいものをみる様に集まって来ました。

ところがそれは、みんなすぐにおぼえられる様な、やさしいうたでした。

なぜならばお友達言葉でしたから。彼等の心にびったりとふれてくる言葉でしたから、幼児達は、よろこんですぐについて来、すぐにおぼえてしまいました。

そして現在ではどうでしょう。友達のうた

No. 1 山羊君 せつこ

No. 2 きやべつがあるく ゆたか・ひろし

○梅雨の頃は一寸した晴

曲解説)

(NO 4 汽車ごっこの

曲解説)

この曲ですきな花にな

って歩くのが大好き。

あげた幼児の感嘆詞。

ネ すみれ等) をみて

(チューリップアネモ

ネ すみれ等) をみて

○庭に咲きはこる花の群

が変る。

(NO 3 はなの曲解説)

幼児のアニメイズムの世

界です。園外に行きた

びに歌う歌。季節によ

り、稲になったり、ね

ぎになったり時々対象

が変る。

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

たなどではなく自分自身の「うた」として
胸をひろげて歌って居るのです。
これからあげる「うた」は幼児たちの日
頃すきな歌です。若し曲の中に幼児達の姿
を想像していただけたらうれいと思いま
す。

(NO 1 山羊君の曲解説)

○春の遠足に行った時、おにぎりを片手に
草をたべている山羊に話しかけた言葉。
みんなで、「ゆうぎ」を創る。「山羊さん
何をしているの」で二人組の一人が山羊
になり(自由表現)一人が山羊のまわり
を拍手でまわる。「その草たべるとおい
しいかい」で二人手を取り合いひざをま

げながら(四回)顔を見合せる。

(NO 2 きやべつがあるくの曲解説)

○入園してまもなく二人ずつならんで園外

にゆく、二列が四列にも五列にもひろが

りながら、それでも一生懸命あるく。お

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

麦もあるいてるじゃあないか。これこそ

や僕達とおなじに、キャベツも葉っぱも

No. 3 は な ゆりこ

♩ = 80~92

あ い は な ころ い は な み ー ん な き れ い よ

間があつても室内遊びにあきた幼

No. 4 汽 車 こ っ こ よ し あ き

Alllegro

だ、だ、ち、ち、だ、だ、ち、ち ぼ、ぼ、 ぼ、 汽 車 こ こ し ょ う

た、い、こ トライ た、い、こ トライ タ、ン、ク、ル だ、い、こ トライ カ、ス、テ、ト

汽 車 こ こ し ょ う う カ、ス、テ、ト シ、バ、ル

見たちは外に流れ出す。長靴をばくばくならしながら砂場とびまわっていた幼児の言葉。

すきに汽車になって歩いたり、スキップしたりする。

楽器で時々合奏するのも面白い。

(群馬大学附属幼稚園)

子供とともに

後藤鈴枝

昭和三十年四月、創立五十二年の輝く伝統を持って知られた静岡精華学園の一隅に建坪六十一坪(十四坪保育室2、便所(男女別)職員室、小使室)の明るい近代的なガラス張りの園舎を持って開園、(三十二年三月には遊戯室、保育室五六坪増築)附近は静かな住宅地で表通りに出れば一通りの商店が軒を並べ、自動車、電車の停留所まで五分、少し足をのばせば県庁、市役所、警察署、公会堂、郵便局、松坂屋等の文化施設にも接する事が出来、お散歩と称